

第5章 魅力・元氣・文化を誇れるまち 第4節 産業人材・雇用

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
農業委員会事務局	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	コロナ禍により戸別訪問等推進活動が制限される中、成果指標の目標を達成し、農業者年金の加入推進を果している。次年度以降も引き続き事業を継続し、制度の周知を図り加入推進に努める。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	優先	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加 根拠法令 農業者年金基金法	56千円	5千円	①加入推進戸別訪問	新規加入者数(人)							農委だよりへの制度案内の掲載やパンフレットの配布、戸別訪問による加入意向確認を行った。加入の意向を示した農業者には再度戸別訪問して詳細を説明し加入を促した。		
	農業者年金推進事業	事業の目的及び具体的内容	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②新規加入者数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	期間	国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する20歳以上60歳未満の農業者を対象に、将来サラリーマン並みの年金受給を確保し老後生活の安定を図る。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	2人	3人	目標達成済					どのように貢献したか		
	S45～		0.24人	0.00人	①5人	R2目標	R2実績						制度の周知や戸別訪問など、加入推進活動を実施した。		
			1,995千円	0.00人	②2人	R3目標									
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	技能功労者を表彰しその功績をたたえることは、技能尊重の気運を高めるとともに、技能者の励みになるものであり意義は大きい。また、障害者雇用優良事業所の表彰は障害者雇用の促進や職業安定につながる啓発効果があり、両事業ともに今後も引き続き実施していく。	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤を作ろう			
	重要	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加 根拠法令 所沢市技能功労者表彰規則、所沢市技能功労者表彰選考委員会設置要綱、所沢市障害者雇用優良事業所表彰要綱	81千円	79千円	①技能功労者表彰者数	被表彰者数及び被表彰事業所数							前年度に引き続き、契約課所管の「所沢市優秀建設工事等受注者表彰式」との合同開催により、事務の軽減を図った。また、周知団体を増やした。		
	技能功労者及び障害者雇用優良事業所表彰事業	事業の目的及び具体的内容	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②障害者雇用表彰事業所数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	期間	技能者の勤労意欲及び資質の向上を図り、技能尊重の機運を高めるとともに、市内事業所における障害者雇用の促進を図ることを目的とし、技能功労者及び障害者雇用優良事業所を表彰するもの。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	10件	6件	目標達成済					どのように貢献したか		
	S54～		0.23人	0.00人	①5人	R2目標	R2実績						技能職者の福祉の増進や職業の発展に寄与し、また障害者の雇用促進と定着に貢献した。		
			1,912千円	0.00人	②1事業所	R3目標									
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	障害者の雇用の場の確保のために必要な事業であるが、成果が出るまでに時間がかかる事業である。また、法定雇用率を超えた場合を主に対象としているが、こうした事業所は少ないのが現状であり、障害者を雇用するための業務のマッチングが課題となっている。	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も			
	重要	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加 根拠法令 所沢市障害者雇用推進企業支援補助金交付要綱	750千円	0千円	①補助制度利用事業所数	補助制度を利用し雇用した障害者数							補助対象となる可能性のある事業者への案内を積極的に行い、令和2年度に引き続き、雇用助成金の事前登録を新たに1件行った(実際の交付はR3年度から)。		
	障害者雇用推進企業支援事業	事業の目的及び具体的内容	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②補助制度利用件数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	期間	障害者の雇用の場の確保と事業者の社会的責任の向上を促し、共生社会の実現に資することを目的に、市内事業者が、障害者を雇用する場合等に要する経費に対し、補助金(事業補助金・雇用助成金・職場実習奨励金)を交付するもの。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	3人	1人	目標達成済					どのように貢献したか		
	H25～		0.10人	0.00人	①2事業所	R2目標	R2実績						障害者雇用に関する情報提供を行うことで、事業所の障害者雇用に向けた機運の醸造を図った。		
			831千円	0.00人	②2件	R3目標									
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成しており、一定の成果が挙げられていると考えられる。	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も 4. 質の高い教育をみんなに			
	重要	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加 根拠法令 特になし	924千円	924千円	①講座開催回数	受講率							新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、2講座のみ中止となったが、開催時には、感染対策(消毒・検温・席の間引き・換気等)を講じて実施した。		
	就業支援事業	事業の目的及び具体的内容	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②講座受講人数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
	期間	就業希望者の就職支援及び中小企業勤労者等のキャリアアップを目的としたパソコン講座を開催する。なお、ハローワークにおいて一定期間内に求職活動をしている失業者については、求職活動証明書の提出により、受講料(一部負担金)5,000円を免除とする取扱いを行う。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	95.0%	95.0%	目標達成済					どのように貢献したか		
	H12～		0.33人	0.00人	①10回	R2目標	R2実績						他課から借用しているパソコンのリース期間が令和3年度で満了するため、リース完了後は同様の形式では講座を継続できない状況となっている。今後の事業展開について、他の形式による支援策へ移行できるか検討を行っていく。		
			2,743千円	0.00人	②79人	R3目標									

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市内中小企業の勤労者とその事業主の福祉の向上のため、当センターの必要性は高いが、会員事業所からの会費のみで運営することは困難なため、今後も継続した支援が必要である。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	10,000千円	10,000千円	①会員数	会員数	事業のスケールメリットを活かすために、会員数の増加を目指す。								
	勤労者福祉推進事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②会員事業所数		R1目標	R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析				
		所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンター事業補助金交付要綱	10,000千円	10,000千円	③利用者一人あたり利用額	R1実績		1,057人							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標		1,046人							
		※R3～勤労者福祉サービスセンター補助金	0.08人	非常勤特別職 0.00人		R2実績		1,046人							
期間	H10～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①1,046人	R3目標	1,210人	事業主の高齢化による廃業などにより、脱退する事業所が増えていること、また、新型コロナウイルスの影響で、業績が悪化している事業者による退会が増えているため。								
		665千円	臨時職員 0.00人	②370事業所	1,210人										
		0.07人	会年職員 0.00人	③14,321円	1,210人										
		572千円													
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成しており、一定の成果が挙げられていると考えられる。	R2年度に改善した点	8. 働きがいも経済成長も			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	6,290千円	6,051千円	①補助対象者数	新規加入事業所数	加入は事業所単位で行われることから、新規に加入した事業主の数を目標値とした。								
	勤労者福祉充実事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②補助対象事業所数		R1目標	R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析				
		所沢市中小企業退職金共済掛金等補助金交付要綱	7,000千円	6,838千円	実績	R1実績		26事業所							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		①398人		R2目標						26事業所	
		中小企業に勤務する常用労働者及びパートタイム労働者の福祉の向上、雇用の安定及び中小企業の振興を図ることを目的に、市内事業所が退職金共済制度に新規加入した場合に、3年間で限度とし、1年間に支払った共済掛金(従業員1人当たりの月額掛金が1万円を超える場合は1万円を限度とする)の20%以内で補助金を交付する。	0.11人	非常勤特別職 0.00人	②76事業所			R2実績						18事業所	
期間	H元～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		R3目標	16事業所	目標達成済								
		0.08人	会年職員 0.00人		16事業所										
		653千円													
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染症に伴う休館(4-5月)をはじめ、利用再開後も利用人数の制限等の影響により、年間利用率が大幅に悪化した。しかし、館内の感染症対策を実施や魅力ある自主事業の実施などにより、制限のある中でも、一定数の利用者数が回復できたことは評価できるものである。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	30,833千円	30,813千円	①年間利用件数	年間利用率(各部屋平均)	年間利用件数/総利用区分数(9施設×6区分×開館日数)								
	ラーク所沢運営事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②トレーニングルーム利用者数		R1目標	R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析				
		ラーク所沢条例、ラーク所沢条例施行規則	31,666千円	31,633千円	実績	R1実績		55.8%							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合		①5,738件		R2目標						36.9%	
		勤労者等の文化、教養及び福祉の増進を目的として設置され、現在は指定管理者が運営している。施設内の会議室等の貸し出しを行うとともに、各種自主事業を実施している。	0.40人	非常勤特別職 0.00人	②3,091人			R2実績							
期間	S63～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		R3目標	50.0%	新型コロナウイルス感染症に伴う休館(4-5月)をはじめ、利用再開後も利用人数の制限等の影響により、年間利用率が大幅に悪化したため。								
		3,325千円	臨時職員 0.00人		50.0%										
		0.54人	会年職員 0.00人		50.0%										
		4,411千円													

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	<p>勤労者と使用者の双方が労働するうえでのルールについて、正しく理解することで、トラブルの未然防止になる。</p> <p>そうすることで、生産性の向上や社会の発展にもつながる。</p> <p>また、実際に発生したトラブルに対しては、専門家による一般労働相談を通じて問題解決へ導けるような体制を維持している。</p>	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	8. 働きがいも経済成長も		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	417千円	374千円	① 埼玉県労働セミナー受講者数(延べ人数)	セミナー参加者のうち、勤労者及び使用者の受講者数(延べ人数)	R1目標	R1実績							R2目標値が未達成の理由・分析
	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	417千円											
	特になし	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.35人	非常勤特別職 0.00人	② 所沢市労働セミナー受講者数(高校生)(延べ人数)	R2目標	R2実績							埼玉県労働セミナーにおいて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面開催における定員数を半減させたこと、また、一部のセミナーをオンライン開催に初めて切り替えたが、参加者属性(勤労者・使用者)を把握できず、実績人数に算入していないため。
	事業の目的及び具体的な内容	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	2,909千円	臨時職員 0.00人										
	労働セミナー・労働相談等開催事業	労働をめぐる様々なトラブルの解決等を目的として、労働セミナー、労働相談等を実施する。	③ 一般労働相談者数	R1目標	R1実績	100人	100人	R2目標							R2実績
	期間	○労働セミナー ・埼玉県との共催により、労働法の基礎知識や安全衛生を学ぶための社会人向けセミナーを開催 ・就職を希望する市内の高校生を対象とする労働法の基礎を学ぶためのセミナーを開催する。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.32人	① 121人	100人								
	S57～	○労働相談 社会保険労務士を相談員として、労働に関する相談を行うことで、労働者及び事業主が抱える様々な悩みや疑問を解決する。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	2,614千円	0.00人	② 205人	R3目標							R3実績
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.00人	③ 27人	100人								
	農業振興課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠							A
重要		■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	① 農福連携情報提供回数	農福連携に係る情報の提供回数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析						
根拠法令		R2予算現額	R2決算額(見込み)	0千円						0千円					
-		R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.40人	非常勤特別職 0.00人	② 体験農場「福祉村」利用区画数	R2目標	R2実績	目標達成済み						
事業の目的及び具体的な内容		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	3,325千円	臨時職員 0.00人										
農福連携推進事業		農業分野と福祉分野の垣根を越えた「農福連携」の取組を推進することにより、農業経営体には働き手を提供し、高齢者や障害者には生きがいや働く場を創出することで、農業分野での人手不足を解消しつつ活躍の場を促していく。具体的には、先進事例の調査研究を進めるとともに、関係機関の協力を得ながら、周知を図っていく。また、連携を希望する事業者を対象に高齢者等の受入や農業参入に関する相談受付を行っていく。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.33人	① 1回	1回	R2目標	R2実績						
期間			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	2,695千円	0.00人	② 3区画			2回					
R1～			R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	0.00人	③ 0回	3回								